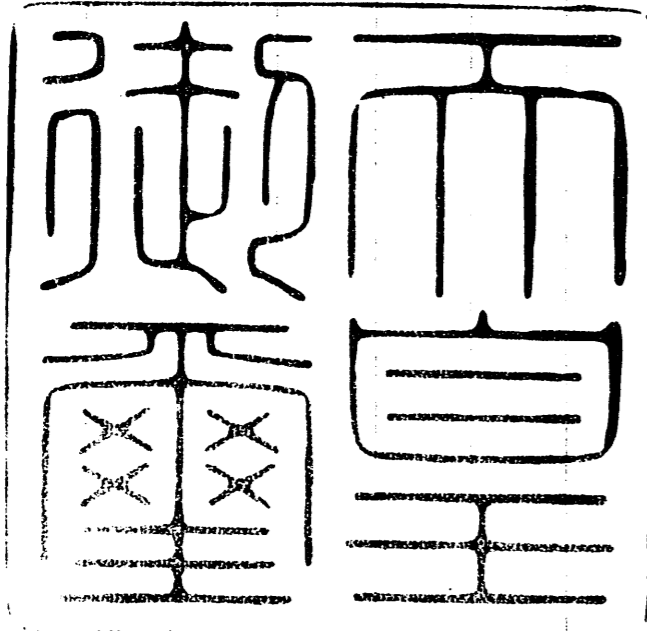


條約第九號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ裁可シ昭和十年八月一日ヲラングーンニ於テ
帝國特命全權大使ガ「ビルマ」國內閣總理大臣ト共ニ署名調
印シタル日本國「ビルマ」國間同盟條約ヲ茲ニ公布セシム

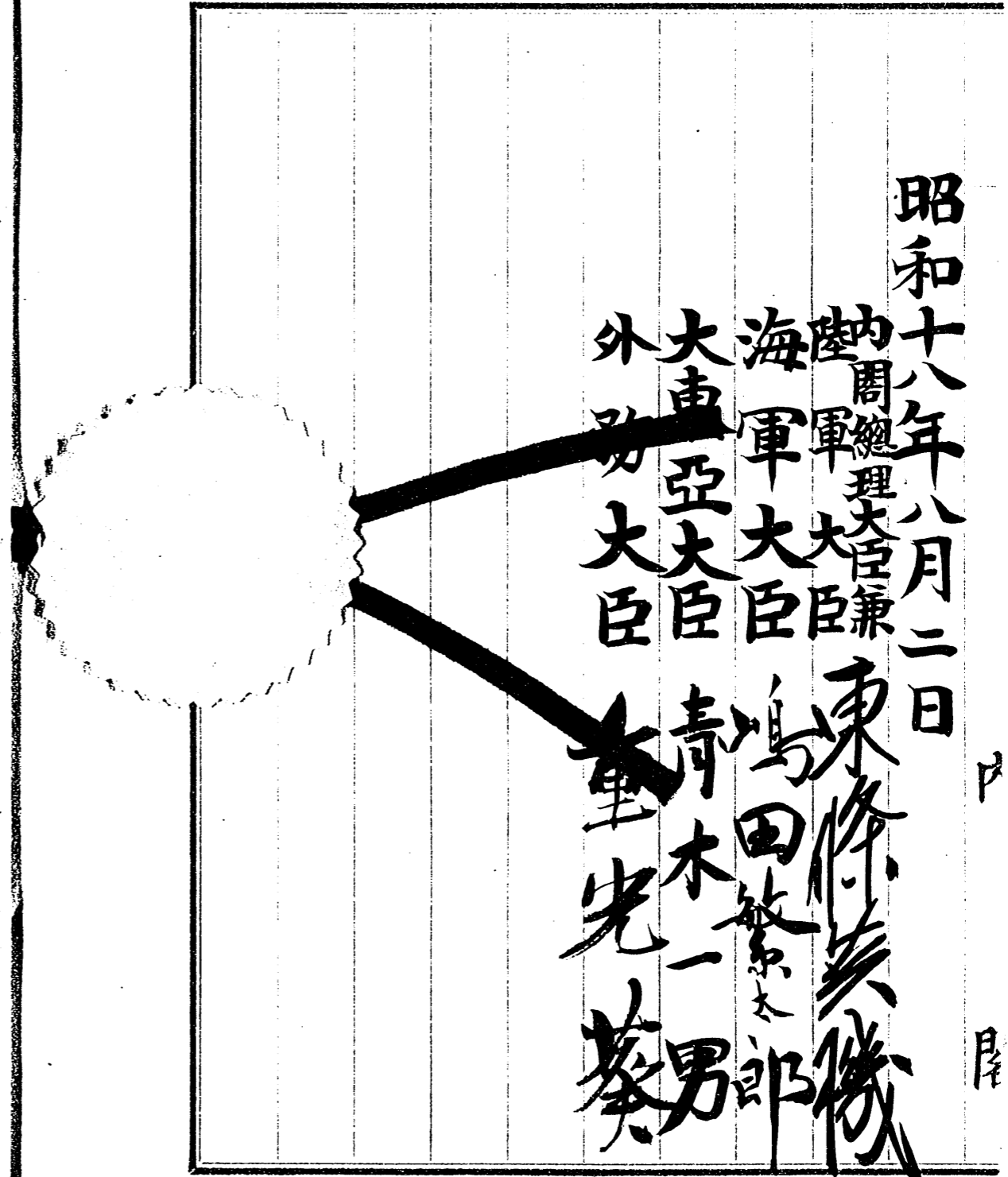
裕仁



日
月

昭和十八年八月二日

陸軍大臣 東條英機
海軍大臣 嶋田繁太郎
大東亞大臣 青木一男
外務大臣 重光葵



條約第九號

日本國「ビルマ」國間同盟條約

大日本帝國政府及「ビルマ」國政府ハ

日本國政府ガ「ビルマ」國ヲ獨立國家トシテ承認シタルニ因リ

兩國ハ相互ニ其ノ自主獨立ヲ尊重シツツ各國ト緊密ニ協力シテ道義ニ基キ大東亞ニ於ケル共同ノ建設ヲ行ヒ以テ世界全般ノ平和ニ貢獻センコトヲ期シ

之ガ障礙タル一切ノ禍根ヲ斐除スルノ確乎不動ノ決意ヲ以テ左ノ通協定セリ

第一條

日本國及「ビルマ」國ハ大東亞戰爭完遂ノ爲軍事上、政治上及經濟上有ラユル協力ヲ爲スベシ

第二條

日本國及「ビルマ」國ハ大東亞各國ノ共榮ヲ趣旨トスル自主的發展及大東亞興隆ノ爲ノ共同ノ建設ニ付相互ニ緊密ニ協力スベシ

第三條

本條約ノ實施ニ關スル細目ハ必要ニ應ジ兩國當該官憲間ニ協議決定セララルベシ

P

14

第四條

本條約ハ署名ノ日ヨリ實施セララルベシ

右證據トシテ下名ハ各本國政府ヨリ正當ノ委任ヲ受ケ本條約ニ署名調印セリ

昭和十八年八月一日即チ「ビルマ」曆千三百五年「ワガン」月「ワクシン」一日「ラングーン」ニ於
テ本書ニ通テ作成ス

大日本帝國特命全權大使 澤田 廉三(印)
「ビルマ」國內閣總理大臣 パー、モウ(印)